

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (四国)	◎	*	*	*
	○	商店街（事務局 長）	来客数の動き	・最近の物価高を受けて先行きに不安が残るが、現状は、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少傾向に伴い、高齢者層も外出される方が増えてきており、消費に安定感が出てきている。
	○	一般小売店〔生 花〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症による制限のない連休が2回続き、繁華街への人出が増加している。来客数と開店日数も以前より増加している。祝い用の商品の注文が増え売上は増加傾向である。
	○	コンビニ（店 長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向であることや連休が2回あったことから、来客数は増加し順調に回復している。
	○	コンビニ（総 務）	来客数の動き	・商品単価の上昇はあるものの、新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきており売上は現状を維持している。
	○	その他専門店 〔酒〕（経営 者）	販売量の動き	・現状、原材料価格の高騰や円安の影響でビールや酒類が値上がりしており、今後の値上げを懸念して買いためする客が増えていることから、足元の売上は増加している。
	○	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴い、来客数が増加している。
	○	観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・3年ぶりに行動規制がなくなり、夏休み時期の個人旅行がリベンジ消費の形で復活している。
	○	旅行代理店（営 業担当）	販売量の動き	・個人の客は順調に増加傾向にある。また翌年度等の大型団体の客（社員旅行等）も少しずつではあるが、問合せが増加している。
	□	一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けており、飲食店への納品が回復しておらず、売上低迷が続いている。
	□	スーパー（企画 担当）	単価の動き	・商品の値上げが続き、前月までと同様に客の事前の買いためが顕著になっている。そのため買上単価が上昇している。
	□	スーパー（人 事）	販売量の動き	・台風の影響による増減はあったが、全体としては売上は前年並みである。連休中の人の動きは活発になっている。
	□	スーパー（財務 担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症による過去の行動制限の反動はみられるものの、外食控えは続いており、総菜の売上は順調に推移している。
	□	衣料品専門店 （営業責任者）	販売量の動き	・月中旬までの売上は、新型コロナウイルス感染症発生前と比較して下回るものの、やや好調に推移していたが、下旬にかけては、後半の3連休に台風の影響で全店休業としたことから、売上が大幅に減少した。最終的な売上は前年比120%程度での着地となるが、新型コロナウイルス感染症発生前と比べるとかなり厳しい。
	□	乗用車販売業 （営業担当）	販売量の動き	・契約に至るが、半導体不足の影響により長納期となり売上が立ちにくい。
	□	乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・モデルチェンジによる新型車の発売もあり、今月の新車受注台数は前年を上回りそうである。
	□	乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・生産台数が若干上向いてきたが、まだまだ安心できる状況ではない。
	□	その他小売 〔ショッピング センター〕（総 務部担当部長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症発生以前の2019年度との比較において、3か月前からの販売量のトレンドは大きくは変わっていない。
	□	都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・宿泊は堅調に推移しており新型コロナウイルス感染症発生前に戻りつつある。
□	通信会社（営業 部長）	販売量の動き	・販売量は大きな変化がみられず、安定している状況が続いている。	
□	通信会社（社 員）	販売量の動き	・会社としては、優秀な営業スタッフの稼働により契約獲得状況は上向きであるが、接触を拒む客も散見されることから全体的にみると売上は前月と変わらない。	

	□	観光遊園地（職員）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響が残っているが、景気回復の兆しは見受けられる。
	□	競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・売上は堅調に推移している。
	▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・物価上昇による消耗品等の値上げが消費に影響している。新型コロナウイルス感染症の影響は減少しているが、自粛や抑制されていた期間が長かった影響で、客の動向・志向が多少なりとも変化している。また円安傾向の継続や株価の下落により難しい状況が続いている。
	▲	商店街（代表者）	それ以外	・日銀短観だけが強気の見通しを崩していないが、国内外の状況は、消費経済にとってほとんど全てがネガティブな環境であり四面楚歌の状態である。唯一の救いは、ようやく各地の街づくり手法が「コンパクトシティ」や、人中心の空間、歩きたくなる魅力的な市街地づくりを進める「ウォークアブル」という真の21世紀型発想によりやくく付き始めたことである。
	▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第7波のピークは過ぎているが、新型コロナウイルスの新規感染者数がなかなか下がりきらないこともあり、日中、夜間共に商店街の人出は減ったままである。売上増加の要素は今のところはない。
	▲	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・今月初めから現在に至るまで店頭売上、外商売上共に前年比で減少傾向が継続している。
	▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の減少傾向は変わらない。1人当たりの買上点数も減少している。
	▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・価格上昇の影響により客単価が上昇し、売上は前年を超えているが、来客数は減少している。
	▲	コンビニ（商品担当）	それ以外	・円安、原価高、輸送費・燃料費・電気代高騰で販管費増が続いている。
	▲	家電量販店（店員）	単価の動き	・客が当初予定よりも1ランク下の商品を選択するケースが多くなってきている。
	▲	家電量販店（副店長）	単価の動き	・決算月であり販促媒体を打っているが、物価高の影響も重なり想定していた売上には至っていない。
	▲	タクシー運転手	お客様の様子	・現状は昼も夜も人の動きは少なくなっている。特に夜の場合、ネクタイ組のサラリーマンのグループ飲み会や飲食を伴う会での人数が少なくなっている。またスナックや居酒屋では今年は補助金が出ずに閉店した店が多々発生している。
	▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響はほとんどないものの、人の動きは活発だった8月の反動で9月は減少している。
	▲	美容室（経営者）	販売量の動き	・物価の上昇の影響で客単価が低下している。
	▲	設計事務所（所長）	来客数の動き	・民間客からの売買注文と売買条件の間合せ数が共に減少している。
	×	*	*	*
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症が収束せず、また円安による物価高騰もあり、小売店の店頭では客の購買意欲が衰えている。しかしながら温泉施設では積極的に投資をしており、注文が増えている。加えて、ネット販売も伸びており、全体としては良くなっている。ここ2～3年で消費の動向が変化している。
	○	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・生産量の減少によるダメージは大きいですが、9月に入り新型コロナウイルスの新規感染者・濃厚接触者による自宅待機者はピークを過ぎている。
	○	建設業（経営者）	競争相手の様子	・公共事業の受発注状況は、引き続き堅調であり、業種、分野によって多少の高低はあるが、総じて前年並みを維持している。新型コロナウイルスの感染状況が多少落ち着いてきたことから、市中の人の動きや業界の営業活動、リクルート、リカレント教育などの活動が動き始め、景況感もやや良くなってきている。

	○	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染等に伴う待機期間が短縮されたことが大きく影響し、景気の現状はやや良くなっている。今後は、待機期間などの規制を撤廃し、自己判断にゆだねるようにしてほしい。
	○	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症が収束傾向にあることや新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチンの接種開始を受け行動制限が緩和され人流が戻りつつある。消費動向も回復基調にあり、減少に歯止めが掛からなかった取扱物量も上昇基調となっている。総じて景気の現状は良くなっている。
	○	輸送業（経理）	受注量や販売量の動き	・国内向けの出荷量については大きな変動はないが、半導体用の原材料の倉庫在庫数量は今後の出荷に備えて増加傾向にある。また、海外向けの出荷量についても中国・東南アジア向けが増加傾向にある。
	□	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・資材不足の影響で先行手配により受注量が多い状況は継続しているが、実需が伸長している感触はない。
	□	一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・世界的な半導体不足による調達環境の悪化や原材料価格の高騰、円安の進行、加えてウクライナ問題など状況は厳しさを増している。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気の先行きへの不安感から客が契約を渋り、売上に繋がらないという状況が続いている。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国交省の工事の発注が遅れている。
	□	通信業（総務担当）	それ以外	・社外イベントやボランティア活動等も新型コロナウイルス感染症の流行以前に近い形で実施できるようになりつつある。しかしながら一定程度以上の新型コロナウイルスの新規感染者が発生し続けており今後の見通しは不透明である。
	□	金融業（副支店長）	それ以外	・依然として新型コロナウイルス感染症の影響及び円安やウクライナ情勢の影響を受けている。
	▲	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・エネルギーや原材料等仕入価格の高騰により、客の販売促進広告費は削減傾向である。
	×	農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・果実や花きは比較的よいが、野菜は厳しい販売が続いている。卸売価格は硬直化の傾向が強まっている。
	×	税理士事務所	それ以外	・暗いニュースばかりであり、プラスの材料が見つからない。
雇用関連	◎	—	—	—
(四国)	○	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染状況は減少傾向にあり、公共交通・宿泊施設・観光施設等の観光関連の集客人数は増加傾向にある。それに伴いサービス提供に必要な人材の求人数は増加しているが、人材のミスマッチに苦慮している。物価高騰に伴う値上げによる購買意欲への影響が今後不透明な状況ではあるものの、景気は良くなっている。
	○	職業安定所（求人開発）	求人数の動き	・新規求人数が前月比で大きく増加しており良くなっている。
	□	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣に対する求人数は一定数あるが、ミスマッチ及び採用条件が厳しくなっており就労にはつながっていない。
	□	求人情報誌（営業）	求人数の動き	・周辺各企業においては、業種によって長引く新型コロナウイルス感染症の影響で求人活動を控えている企業も多くなっている。一方で人手不足業界や、業績好調による増員を計画している企業では、積極的に求人活動を行っている。全体としては横ばいである。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・引き続き企業の手不足感が続いている。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・物価上昇の影響で民間の広告出稿状況はますます厳しくなっている。
	×	—	—	—